

地球温暖化がそのまま進むと地球上の生物の 1/6 が絶滅

昨日の BBC News によりますと、気候変動に対して何も取り組まない場合は地球上の生物の 1/6 が絶滅に直面する可能性があるとの調査研究の結果が米国コネチカット大学によって発表されたと報じている。

米国科学雑誌サイエンスに発表された調査研究では、現在の地球温暖化ガス排出量がこのまま続けば地球上の温度が 4℃上昇し動物や植物の 16%が失われる。特にオーストラリア、ニュージーランド、南米でリスクが最も高い値を示している。コネチカット大学のマーク・アーバン博士は気候変動による絶滅のリスクについて 131 の科学的研究のデータを分析しました。彼は、生物多様性の損失速度は、温度の 1℃上昇に伴ってスピードアップする可能性がある」と述べている。



様々な生存の脅威にさらされている両生類 (BBC Web より)

将来の気温は産業革命以前の時代と比較して 2 度上昇すれば、グローバルな絶滅リスクは今日の 2.8%から 5.2%に上昇する。しかし、その生息範囲をシフトできない全生物の種の 16%が絶滅に繋がることになる。この為、世界が一緒になって、温室効果ガスの排出量を制御しない限り、地球温暖化はどんどん進捗し、地球上のかけがえのない種の潜在的な損失に直面するだろうと言われている。

高い絶滅リスクの地域は前述のごとく、オーストラリア、ニュージーランド、南米が予測されているが、これら地域で生息できる種の多くはその生息範囲をシフトし気候変動に追従することができるようになる。アリゾナ大学のジョン・Jウィーンズ教授のコメントは、調査研究の分析の大半は絶滅のリスクが低いヨーロッパや北アメリカからであったが、気候変動からのグローバルでの絶滅の危険性は、16%よりもさらに高くなる可能性があり、特に南米では絶滅の危険性が23%であると推定されると述べている。さらに「残念ながら、この数値が大きいほど、気候変動によって絶滅して行くかもしれない地球上の生物の数を反映していることである」とも述べている。

英国の自然保護団体（WWF-UK）の科学政策ディレクター、マイク・バレット博士は「調査研究は脊椎動物種の個体数が1970年から半減していることを明らかにしており、これは現在の地球の状況を反映しているレポートであり、我々が気候変動への取り組みに失敗した場合、多くの種が絶滅の危機に瀕して来ることを示唆している」と述べている。（了）

BBC Site URL <http://www.bbc.co.uk/news/science-environment-32532518>